

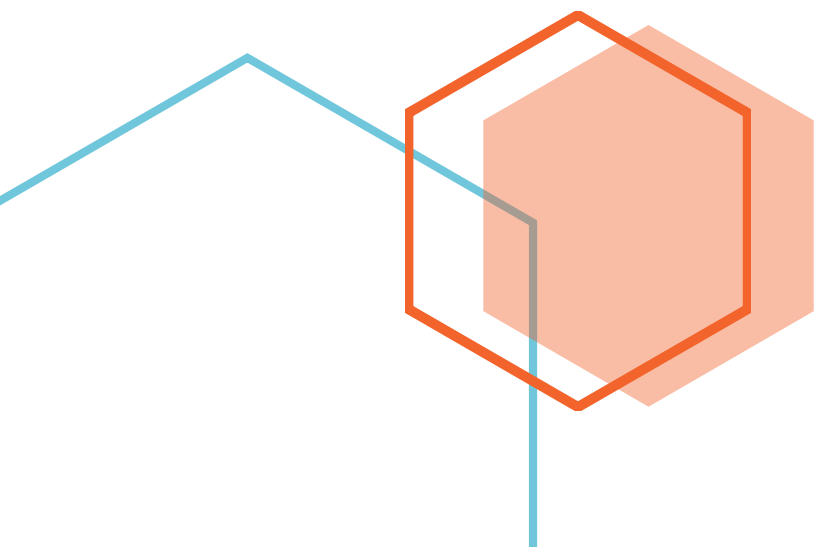


ふれあい会議

A 圏域・B 圏域合同

白井全域

3年ぶりにふれあい会議を実施しました。久しぶりの意見交換や交流を通じて、お住いの地域助け合い活動について考え、日々の活動に活かしていただきたいと思います。また、高齢者の生活の困りごとを、多くの地域住民に知っていただく必要があります。





ふれあい会議

ふれあい会議は新型コロナウイルス感染拡大により開催して
いなかった。

そのような中、コロナ禍でも活動を続けたり、新たに助け合い
活動に関心を持つ方もいらっしやり、住民同士で交流しながら
情報交換をしていくことが必要だという声から開催するに至った。

参加団体・参加者（計26名）

- ちょっとした困り事サービス（生活支援）
- ちょこつとやりますワンコインサービス（生活支援）
- みんなで楽しく買い物支援（買い物支援）
- 楽々会（サロン）
- 第一小学校区地区社協・民生委員
- 第二小学校区地区社協
- 池の上小学校区地区社協
- 七次台小学校区地区社協・民生委員・住民
- 桜台地区自治会長
- 自治連合会副会長
- 白井中央地域包括支援センター
- 白井駅前地域包括支援センター

SCの動きや考え方、他の 連携

お声掛けした市民の方々

- 助け合い活動の団体に所属している方
- 新たに助け合い活動の団体立ち上げ等を検討している団体
- 助け合い活動に関心をお持ちの方

会議開催の目的

- ① 今後の活動に向けた情報交換・交流を住民同士で行い、活動に活かしていただく
- ② 助け合い活動を広く地域の方の啓発へと繋げる



会議当日のスケジュール

○助け合い活動の必要性について（SC 鈴木）

○参加者 自己紹介

○交流会

○事例の報告



支え合いの必要性を、マンガでわかりやすく説明しました。

これからは介護保険制度だけでは、支えられなくなるということをお伝えしました。

・自己紹介では、団体所属の方や自治会関係者、地区社会福祉協議会に所属している方、住民として参加した方々、“始めまして”の1分自己紹介を行いました。



SC からマンガで楽しく理解しようの説明



☆各グループで話し合ったこと☆

○買い物支援に興味のあるグループ

・買い物支援団体を立ち上げる際は民生委員や地区社協を兼ねているスタッフが多いため、どの立場でこういった団体をつくりあげるかという、一番最初の枠組み作りが大変だった。などの話を伺った。

○第一小学校区、桜台小学校区では、支え合いグループの活動がないので、課題はあるの？どうなっているの？

・参加した中で、地域の事業所ケアマネジャーの参加もあり、困り事を伺った。買い物に行けても、帰りの荷物を持って帰るのが大変など

・サロンなどの参加者に対してアンケート調査を行って、**実際に抱えている生活課題**を詳しく知りたい。

・課題解決のための**協力者の高齢化や人手不足**を解消することが必要だが、そこをどうしたらよいか具体的な解決策が見つからない。

○認知症の方やゴミ出しができないことについて、地域でどうしたらよいの？

・どの地域でもゴミ出しの課題があることや、地域の特色に応じた解決方法があることがわかった。

・サロンなどの交流ができる場などで、情報交換しながら、健康寿命を延ばすことも大切なことがわかった。

・ゴミ出しができない人が、増えてきたら地域でどうするか、今後考えていく必要があるよね。



★久しぶりに住民同士で意見交換をできてよかった。今後もやってもらいたい。

買い物支援について話し合い



助け合い活動の思いや必要性は感じて頂けているものの、効果的な仕組みづくりや人集めなど現実的な課題が多くあることを感じた。





今後の展開 キーワード

CSの動きや考え方

住民同士で意見交換

他の地域の方との交流ができてよかったという声をいただいたため、交流の機会を確保していきたい。

協力者の高齢化や人材不足

どのようにすれば人材確保につながるのか具体策の立案につなげて、実践する必要がある。

実際に抱えている生活課題

地域包括支援センター等からいただく相談のうち、地域住民同士での解決が必要だと判断したものは、生活支援コーディネーターから地域住民へ相談している現状ではある。生活課題を理解していただくために、意識的に住民へ相談していく。コーディネーターもさらにネットワークを広げていく必要がある。



ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

